

歴史の落ち穂拾いはとても嬉しい。いろんな発見があるし、今に繋がる心があると嬉しくなる。この文、時折、NPO仲間の加来睦博君（五十一歳）とのメール通信で意見を伺う。彼の感想や指摘がとても参考になる。文は人に読まれてなんぼ、と言われるが、なるほど、しかりだ。そして意見をいただけるのは有り難い。

彼からの返信に「NHKEテレビの地球ドラマチック『ナチスに立ち向かったユダヤ人先生』で、命がけの教育を行った女性教師がいたことを知った」と、ドイツの教育者レオノラ・ゴールドシュミット（二八九七〜一九八三）のことが記されていた。

レオノラ女史は、ナチス・ドイツが反ユダヤ的な政策を行う中、一九三三（昭和八）年に公立学校の教師をユダヤ人であることを理由に解雇された。

彼女は、それに屈することなく、いじめや差別にあうユダヤの子供たちのために、一九三五年、ベルリンに「私立ユダヤ人学校」を開校。二年後にはケンブリッジ大学の入学試験センターとしての地位を確保、英独語のバイリンガル教育が行われ、生徒も五百名を超えた。学校は子供たちの避難場所になったとも言われる。

一九三八年、ナチスがユダヤ人の住宅や商店、施設へ

文学史に残るプロレタリア作家・葉山嘉樹「淫売婦」が映画化されると聞く。

いま何故、淫売婦なのか。この作品、タイトルの意味は、女が金品を得て男に性行為を許す、それを職業とする女、となる。だが、この短編が名品として残り伝わるのは、痛ましく哀しい「性」を扱っていても、一人の女が、命を守る、それを見守る男たちがいて、ともに生き抜く「命と生」の尊い姿を描いているからだろう。

言葉がどんな映像になるのか、とても興味深い。

葉山嘉樹（一八九四〜一九四五）は、福岡県京都郡豊津村（現みやこ町）に生まれ、旧制豊津中学（現育徳館高校）を卒業後、一九一三（大正二）年、早稲田高等予科文科に進学するも中退。船員生活、セメント工場勤務など各地を転々。一九二三年、名古屋の労働争議で検挙されて名古屋刑務所に投獄される。獄中、五日で傑作を書いた。

短編「淫売婦」は「此作は、名古屋刑務所長、佐藤乙二氏の、好意によつて産れ得たことを附記す。——一九二三、七、六」で始まり、「若し私が、次に書きつけて行くやうなことを、誰かから『それは事実かい、それとも幻想かい、一体どつちなんだい？』と訊ねられるとしても、私はその中のどちらだとも云い切る訳に行かない」

38 「淫売婦」は殉教者

と続き、「今は彼女の体の上には浴衣ゆかたがかけてあつた。彼女は眠つてるのだらう。眼を閉ぢてみた。私は淫売婦の代りに殉教者を見た。彼女は、被搾取階級の一切の運命を象徴してゐるやうに見えた。私は眼に涙が一杯溜つた。（略）ポトリとこぼれた。——一九二三、七、一〇、千種監獄にて」で終わる。

この作品を読み、汚れや悲惨な姿を見るのだが、そこには神の気配さえ漂う。文が強力に読者に憑き、心を動かしていく。それは救いの力を持つ証左だろう。

葉山は「牢獄の半日」の後、二四（大正十三）年に「淫売婦」を書き、翌年「セメント樽の中の手紙」を雑誌『文芸戦線』に発表した。またプロレタリア文学の傑作といわれる『海に生くる人々』を刊行するなど、大正末期、無名の青年は彗星のように文壇に登場した。

この郷土作家の作品を追って、児玉公広（四十八歳）監督（行橋市生まれ）が脚本を書く。郷土人の眼が、関東大震災（一九二三年九月）後に書かれた「淫売婦」を通して、東日本大震災（二〇一一年三月）後の社会不安をどう捉え、どう切りとるのか、児玉さんに注目が集まる。タイトルを超える人間の「生」を表現してほしい。

（2014・8）

37 ナチスに立ち向かった女先生

の襲撃を始めた時、レオノラは、学校を知人のイギリス人に譲り、「イギリスの所有物でイギリス王国の庇護のもとにある」としてナチス突撃隊などの攻撃から免れたものの、翌年「ゴールドシュミット・ハウス」は正式に閉鎖されることになった。

彼女は八十名の生徒と数人の教員とともにドイツを出国。四〇年、イングランドで再び学校を開校した。迫害を受けてなお、子供たちの教育のために教員として働き続けるレオノラの姿がそこにあつた。

レオノラ女先生を追いながら、一九八五（昭和六十）年にイスラエル政府から日本人初で唯一、ヤド・バシエム賞（正義の異邦人賞）を贈られた杉原千畝すぎはらちかおのことを思い続けた。第二次世界大戦中、リトアニアのカウナス領事館に赴任していた彼は、ナチス・ドイツの迫害で欧州各地から逃げてきた六千人にのぼるユダヤ系避難民にビザ（通過査証）を発給し続けた。それは外務省訓令に違反する行為だった。

早稲田大学キャンパス内の杉原顕彰碑文には「外交官としてではなく、人間として当然の正しい決断をした」とある。人間、最後は自らの意思と行動で決まる。

（2014・8）